

I ビジネスQ&A

Business Q & A

Q：車の安全装備を簡単に比較できるサービスはありませんか



Catalog Data Library

A：「Catalog Data Library」という商品がございます。

当社は、2000年以降に発売された国産の乗用車、商用車、ならびに海外主要メーカーのカタログ情報を網羅しており、そのデータを活用して、メーカー、年式を超えた諸元や装備の比較ができる商品を揃えております。

諸元・装備		
外観		
メーカー	トヨタ	トヨタ
車名 / グレード	ノア HYBRID S 2 人乗り	ノアハイブリッド Si 7人乗り
合計金額 (税抜)	3,336,364円	2,990,000円
合計金額 (税込)	3,670,000円	3,229,200円
		3,437,500円

例えば、次に購入を検討されているお車と現在お乗りになられているお車の諸元/セーフティ機能/インテリア/エクステリア/オプション/の違い、燃費/価格等の違いについても、いちいちWeb上で検索する必要もなく簡単に比較できます。昨今は、特に安全装備に関心をお持ちのお客様が増えていることから各メーカーも安全装備の優位性を競っておりますが、メーカー毎に名称が異なる装備についても横串で比較することが可能です。

<主な機能例>

●新旧車両の比較

旧車両の装備等の把握が必要な中古車販売事業者様にも効果的にご活用いただいております。

●メーカー別同車種の比較

特にお客様の関心が高い安全装備について具体的な違いを確認可能できます。

●同メーカー同車種のグレード別の装備の比較

価格差による装備の差を確認できます。

●立体駐車場、車庫に入庫可能な車両かどうかの判断

諸元カタログデータから車高、車長、車幅データをすぐに取り出せます。

現在、新車の販売事業者様、中古車の販売事業者様、オートリース事業者様などを中心にご活用いただいておりますが、お客様の声を大切にし、さらなる商品性の向上に努めて参ります。

I 株主メモ

Stockholder Memo

事業年度 每年4月1日から翌年3月31日まで

定期株主総会 每年6月

定期株主総会 3月31日

期末配当金 3月31日

中間配当金 9月30日

(中間配当を実施する場合)

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

三井住友信託銀行株式会社

〒168-0063

東京都杉並区和泉二丁目8番4号

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

TEL 0120-782-031 (フリーダイヤル)

三井住友信託銀行株式会社 全国各支店

電子公告により当社ホームページ

(<https://www.slc.jp/>) に掲載します。

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株主通信 第58期 中間報告書

2025年4月1日から2025年9月30日まで

I 企業データ

Corporate Data

商 号 システム・ロケーション株式会社

英 文 社 名 System Location Co.,Ltd.

本 店 〒153-0043 東京都目黒区東山二丁目6番3号

TEL 03(6452)2864 FAX 03(5725)8775

URL <https://www.slc.jp/>

創 業 1992年7月1日

上 場 取 引 所 東京証券取引所 スタンダード市場(証券コード2480)

資 本 金 100,000,000円

発行済株式総数 3,570,000株

株 主 数 1,280名 (2025年9月30日現在)

事 業 内 容 自動車関連事業者向け業務支援

グループ従業員数 58名 (2025年9月30日現在)

役 員 (2025年10月1日現在)

【取締役】 【監査役】

代表取締役社長 千村 岳彦 常勤監査役(社外) 内田 善昭

常務取締役 内村 裕一 監査役 井坂 俊達

取 締 役 後藤 清文 監査役(社外) 山中 雅雄

取 締 役(社外) 森 吉平

取 締 役(社外) 吉村 桂



システム・ロケーション株式会社

| 株主の皆様へ

Top Message

株主の皆様には、平素より格別のご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

当中間連結会計期間（2025年4月1日～9月30日、以下「当期」）における当社関連市場である自動車産業は、供給サイドは昨年のような認証不正問題等による生産停止等の影響は無く安定した基調で推移しましたが、需要サイドでは物価高騰や車両価格の値上がりなどによる消費意欲の冷え込み等の要因により、国内における新車登録台数（乗用車）は前年同期比1.9%減となりました。景気への懸念は強まっており、先行きについても慎重な見通しとなっています。一方、中古車登録台数（乗用車）は同0.6%の増加とほぼ横ばいでいたが、中古車市場では再び仕入れ難への懸念が強まっている状況です。

このような市場動向の下、前期に引き続き、自動車販売事業者、自動車関連金融事業者などの取引先を中心に、商品・ソリューションの提供に積極的に取り組みました。主力商品であるCA Doctorにつきましては、販売事業者を取り巻く環境・販売スタイルの変化もあり、前年同期の水準を達成できない状況が続いているが、商品の機能拡充や料金体系の柔軟性の向上、販路の対象拡大などにより引き続き売り上げ増加に向けて取り組んでおります。また、リース関連事業者、中古車事業者等からの弊社商品・ソリューションに対するニーズは根強いものがあり売り上げは増加基調で推移しておりますが、さらなる事業の成長を企図し、AIを活用して商品の機能向上を図る取組、中古車事業強化に資する新商品の開発等にも注力しております。

この結果、当期における当社グループの売上高は、862,322千円（前年同期比2.1%増）となりました。引き続きリカーリングの性質による売上が大半であり、ストック型売上として、フロー型ビジネスと比較し安定的に推移するものです。営業利益は、売上増に加え、売上原価の低減（前年同期比11.9%減）、販管費の減少（前年同期比2.0%減）効果もあり、322,082千円（前年同期比17.7%増）となりました。売上原価は、昨年発生した一時的な償却負担の解消及びシステム開発・運用の内製化や事業方針変更により低減したものであり、販売管理費においても昨年、一時に発生した費用等の減少があったものです。経常利益は350,202千円（前年同期比7.4%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は税効果の影響により223,670千円（前年同期比17.6%増）となりました。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長 千村 岳彦

| 連結財務諸表（要旨）

Financial Statements

| 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2025年3月	2025年9月	増 減
流動資産	2,416	2,517	101
固定資産	1,965	2,149	183
流動負債	163	248	85
固定負債	518	538	20
純資産	3,701	3,879	178
総資産	4,382	4,666	284

| 連結損益計算書

(単位：百万円)

	2024年9月	構成比	2025年9月	構成比
売上高	844	100.0%	862	100.0%
売上総利益	650	77.0%	691	80.2%
営業利益	273	32.4%	322	37.4%
経常利益	325	38.6%	350	40.6%
親会社株主に帰属する中間純利益	190	22.5%	223	25.9%

| 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	2024年9月	2025年9月	増 減
現金及び現金同等物の期首残高	1,976	2,203	226
営業活動キャッシュ・フロー	244	359	115
投資活動キャッシュ・フロー	△74	△776	△702
財務活動キャッシュ・フロー	△133	△133	0
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,013	1,653	△360

| 財務ハイライト（連結）

Financial Highlights

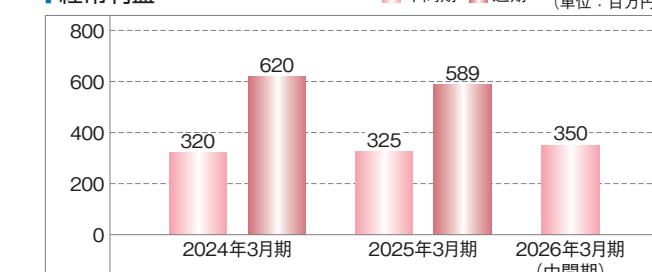
| 売上高

■ 中間期 ■ 通期 (単位：百万円)



| 経常利益

■ 中間期 ■ 通期 (単位：百万円)



| 親会社株主に帰属する当期純利益

■ 中間期 ■ 通期 (単位：百万円)



| 総資産／純資産

■ 総資産(通期) ■ 純資産(通期) ■ 総資産(中間期) ■ 純資産(中間期) (単位：百万円)

